

## 志摩クリエイターズオフィス 志摩の小庭 野+

### 「木づかい宣言」

令和2年3月 ～ 令和5年2月

「志摩の小庭 野+」は、伊勢志摩国立公園・賢島の対岸にあります。2800坪ほどの敷地には、起伏がある緑豊かな自然林と国登録有形文化財である「旧猪子家住宅」があります。昭和9年に建設された「旧猪子家住宅」は、木造伝統工法で建てられた建築物で、志摩地域における昭和初期の文化や歴史を感じることが出来ます。

私たち志摩クリエイターズオフィスは、この「志摩の小庭 野+」にある自然・文化・歴史といった魅力的な要素を活用するべく、施設の整備や事業の企画、調整等を行っています。

現在は、敷地内の建物や散策する小道等の整備を行うなど、「志摩の小庭 野+」をたくさんの方々に活用してもらえるプロジェクトを進めているところです。

このプロジェクトの一環として、活動拠点となる「いかだ丸太の家」を建設しました。その材料には、「真珠や牡蠣の養殖」の“いかだ丸太”に用いられる県産の間伐材を使用しています。また、壁には土壁を採用し、竹小舞、荒壁塗り作業は、地元地域の方々と協力して作業しました。携わる職人たちは、地元で古くから生業としている方々にお願いし、彼らの持つ技術や知識を”次世代への継承”につなげるため、20代の大工さんも参画しています。

建物の維持なども将来を見据えた計画とし、環境負荷低減を推進するとともに、地元にあるモノを利用し地元の人々が作ることで地域の活性化を推進しています。

今回の木づかい宣言では、県産木材の魅力を伝えることを通じて、地域の活性化や森林の保全・育成等に貢献したいと考えています。今後も「志摩の小庭 野+」を拠点として、持続可能な社会の実現に向けて活動を行ってまいります。

## 木づかい運動計画書

下記建設予定施設の木造・木質化を実施します。

実施日：令和2年3月（状況報告予定：施設完成後）  
施設名：「いかだ丸太の家」  
住所：三重県志摩市阿児町「志摩の小庭 野+」内  
県産材使用部分：施設構造部、内装  
樹種：ヒノキ（筏丸太材・紀北）、スギ（飯高）、ツガ（熊野）、マツ（伊勢）  
県産材使用量：58.5m<sup>3</sup>

「志摩の小庭 野+」に建設する「いかだ丸太の家」において、構造材や内装に目に触れやすい形で三重県産材を使用し、来訪者に木材の魅力をPRします。



いかだ丸太の家（完成前）

下記木製作品の展示及び森林環境教育活動を実施します。

実施日：「いかだ丸太の家」整備完了以降（状況報告予定：随時）  
用途：「志摩の小庭 野+」内にある様々な素材を活用した手づくりの木製作品の展示（販売も行う）や森林環境教育活動を実施することを通じて、建築を含めた志摩の文化、歴史及び自然を発信するとともに、木材の魅力をPRします。

※これらを一歩とした活動により得られた収益を維持管理に回し、運営から管理まで「志摩の小庭 野+」内で循環させることを計画しています。